

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	高齢者福祉課長 稲田 勝	電話番号	0852-22-5236
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	生涯現役社会づくり推進事業（県民意識啓発）		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	心身ともに健康で社会的な関わりを持ち続けながら生活している高齢者を顕彰することにより、生きがいづくりと健康づくりへの意識を高める。	
事業概要	生涯現役者認定証：75歳以上の高齢者の生きがいと健康づくりの意識の高揚を図るため、75歳を過ぎても生産活動やボランティア活動等を行っている者に交付する。 健康超寿者表彰：高齢者の生きがいと健康づくり意識の向上を図るため、100歳以上の現役で活躍する健康な長寿者を顕彰する。 刈払機-消費社会形成援助事業：悪質商法など高齢者が巻き込まれる消費者トラブルを防ぐため、各地域の消費者問題研究会が行うセミナーなどの啓発活動に対して助成する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	生涯現役証交付者数	目標値	600.0	600.0	600.0	600.0	人
	式・定義	75歳以上であって、現役で生産活動、地域活動等を行っている人に交付する「生涯現役証」の交付人数	取組目標値					
			実績値	294.0	144.0			
			達成率	49.0	24.0	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
				実績値				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,861	2,941
うち一般財源 (千円)	1,234	1,314

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

	【東部】	【西部】	【隠岐】	【計】
・生涯現役証 総交付者数（H29年3月末日現在）	1,791人	515人	75人	2,381人
・県内の75歳以上の高齢者の人口（H28年10月1日現在）	77千人	41千人	4千人	122千人
・75歳以上人口に占める交付割合	2.3%	1.3%	1.7%	2.0%
・協賛店数	55店	31店	2店	92店（鳥取県4店を含む。）
・健康超寿者表彰数 H28：6名（総表彰数：54名（H18～））				
・悪徳商法等の高齢者向け研修会や啓発活動等の実施団体数：14団体				

6. 成果があったこと（改善されたこと）

生涯現役証の広報に取り組んだが、生涯現役証交付者数はH28年度の目標値に達しなかった。しかしながら、H28年度は協賛店拡大に向けた広報活動を行った結果、協賛店はH27：82店からH28：92店と拡大した。これにより、より一層利用しやすいものとなり、H28年度末までの総交付者数は2,381人と、高齢者の生きがいづくりと健康づくりの意識高揚に貢献している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
生涯現役証交付事業の有効性は認められ、発行数は着実に増加しているが、その発行割合は75歳以上の方の約2.0%という状況であり、また、交付者の地域的な偏りも見られる。
- ②困っている状況が発生している「原因」
生涯現役証交付事業の目的やその特典に対する認識度がまだ不十分であると思われる。
- ③原因を解消するための「課題」
生涯現役証の申請増加につながる方策や宣伝方法を検討する必要がある。また、引き続き、協賛店の拡大のための広報活動を実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・協賛店を記載した募集ちらしを、協賛店や関係機関、団体等へ広く配布し、一層のPRを図っていく。
- ・引き続き、県ホームページでの紹介、協賛店でのステッカー表示等により周知を図っていく。
- ・生涯現役証がさらに利用しやすいものとなるよう、協賛店による新たな特典の開拓、協賛店の更なる拡充を図り、生涯現役証申請者の増加につながるよう努める。
- ・引き続き、「65歳以上の高齢者を応援するサービス」を独自で取り組んでいる事業者をホームページで紹介する。